

2024年4月17日

各 位

大阪信用金庫  
理事長 高井 嘉津義

## 定例調査：第199回 景気動向調査（1～3月期）

- ☆長いトンネル 決め手に欠ける景況感・・・・・・・・・・売上DI-7.5へ下落
- ☆設備投資 堅調続く・・・・・・・・・・「予定あり」13.5%
- ☆解決遠い 経営上の問題・・・・・・・・・・「仕入単価上昇」73.3%「人手不足」40.3%
- ☆賃上げ実施予定 過去10年で最高・・・・・・・・・・「実施予定」6割

## ●長いトンネル 決め手に欠ける景況感・・・・・・・・・・売上DI-7.5へ下落

総合では、売上DIが-7.5（前回比△2.7 ㊦）、収益DIが-15.7（前回比△0.9 ㊦）とそれぞれ前回から下落しました。

売上DIは、運輸業が3.0（前回比+26.1 ㊦）、飲食業が21.0（前回比+9.8 ㊦）、サービス業が-2.7（前回比+9.6 ㊦）、製造業が-5.0（前回比+1.7 ㊦）と4業種が上昇する一方、不動産業が-21.2（前回比△18.2 ㊦）、建設業が-10.3（前回比△15.7 ㊦）、卸売業が-3.7（前回比△7.8 ㊦）、小売業が-24.6（前回比△5.4 ㊦）と落ち込んでいます。

景気は回復への決め手に欠け、長い踊り場にあると思われます。

2024年4-6月期は、売上DIが4.4 ㊦、収益DIが5.3 ㊦それぞれ上昇すると予想し、賃上げに伴う個人消費の回復が起爆剤となり、業況の回復に繋がることを期待していると思われます。

## ●設備投資 堅調続く・・・・・・・・・・「予定あり」13.5%

設備投資は、総合では「実施中」が13.8%（前回比△1.5 ㊦）、「予定あり」が13.5%（前回比+1.5 ㊦）で合計27.3%となり、堅調な推移を維持しています。特に「予定あり」は、飲食業が25.0%、建設業が17.7%、卸売業が15.2%となる一方、製造業は13.6%、小売業が3.6%に下落し、業種間でバラツキが見られます。

## ●解決遠い 経営上の問題・・・・・・・・・・「仕入単価上昇」73.3%「人手不足」40.3%

経営上の問題点は、総合では「仕入単価上昇」が73.3%（前回比+2.0 ㊦）、「一般経費増大」が49.4%（前回比+6.6 ㊦）、「売上停滞減少」が48.1%（前回比△0.7 ㊦）、「人手不足」が40.3%（+1.4 ㊦）となりました。「人手不足」は飲食業が65.0%（前回比+3.9 ㊦）、建設業が61.9%（前回比+1.0 ㊦）、サービス業が57.5%（前回比△1.4 ㊦）と深刻な状況にあり、2024年問題への対応が大きな経営課題となりそうです。

## ●賃上げ実施予定 過去10年で最高・・・・・・・・・・「実施予定」6割

来年度の賃上げについて、6割が「実施予定」と回答し、過去10年で最も高くなりました。

ベースアップ予定額は「5,000円以上」が37.4%、定期昇給予定額は「5,000円以上」が35.7%となり、金額ベースでも大きく上昇しています。

長期化する「人手不足」により、従業員の流出は企業の死活問題に直結し、業況の先行きが見通せない中でも、苦渋の決断を行っていると思われます。

調査時点：2024年2月下旬～3月上旬

対象期間：2024年1～2月期（実績）・3月（予想値） 2024年4～6月期（見通し）

対象企業：当金庫お取引先1,641社（大阪府内、尼崎市）

回答企業数：650社（回答率39.6%）（調査票郵送・Webで回答）

本調査に関するお問い合わせは下記までお願いします

だいしん総合研究所（担当：平山）

TEL: (06) 6775-6590 FAX: (06) 6772-1630

E-mail: souken@osaka-shinkin.co.jp URL: <https://www.osaka-shinkin.co.jp>

この街のホームドクター



大阪信用金庫